



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長/矢島 實
- 副会長/矢島 進・井上保子
- 幹事/矢崎宏明
- 会報・雑誌・広報委員長/笠原祥一

- 事務所/岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL: <http://okayarc.org>・E-mail: okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会/毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2513 回例会 2011 年 (平成 23 年) 3 月 6 日 (日)

国際ロータリー第2600地区 誼訪グループ2010-2011年度
INTERCITY MEETING・会員セミナー
IMテーマ「**地域を育む**」

国際ロータリー第2600地区 誼訪グループ2010-2011年度
INTERCITY MEETING・会員セミナー
IMテーマ「**地域を育む**」

会員セミナー
「私のロータリー人生」
講師 ■ RI第2600地区バスターガバナー
三井章義 氏

IM講演会
「思うは招く」“夢があればなんでもできる”
講師 ■ (株)植松電機 専務取締役
植松 努 氏

●日時
2011年
3月6日(日) 開会 13時

●会場
マリオ
岡谷市長地権理町3-2-45

ごあいさつ

誼訪グループガバナー兼庶長
小口政博

誼訪グループの会員のみならず、今日はおこさおいで下さいました。一緒に会員セミナー・IMに参加し、勉強が出来ることを心から喜んでおります。

一般にIM(Intercity Meeting)はグループ内のクラブが集まって、親睦、情報、教育の交流をする最善の機会とする会合であるといわれております。本日の会合の主旨を充分にご理解頂き、参加して良かった、勉強になった、楽しかったと実感し、お褒めいただければ幸いです。

IMの講演は「思うは招く」です。昨年ついにGDP(国内総生産)で中国に追い抜かれて、経済大国3位に転落したと報じられております。昭和43年に西ドイツを追い抜いて2位になって以来、42年ぶりの出来事です。産業界は新しい時代を迎えようとしております。この時に、地域を育みながら事業を進めております植松講師を迎えての「夢があればなんでもできる」のお話しは物づくりの何かのヒントになるものと信じます。

懇親会のテーマは「クラブの枠を超えて、友だちになろう」です。大いに飲み、語り合い、楽しいひとときをお過ごし下さい。

貴重な時間を割いてご参加下さいました皆さんにとって、実り豊かな成果を期待し、祈りながら御挨拶と致します。

ホストクラブ **岡谷エコロータリークラブ**

事務局 ■ F394-0081 岡谷市長地権理町3-2-45 TEL. FAX0266-26-7600

IM・会員セミナー プログラム

本会議	2階 グランドホール
12:30 登録受付	SAA ホストクラブ副SAA 森下克朗 司会 ホストクラブSAA 山崎廣和 誼訪グループガバナー補佐 小口政博 ホストクラブ会長 高木秀典 ソングリーダー 高木秀典 誼訪グループガバナー補佐 小口政博 IM実行委員長 下島 慎 ガバナー挨拶 RI第2600地区ガバナー 植松隆夫 参加クラブ紹介 ホストクラブ幹事 長田 香
13:00 点鐘 開会のことば 国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱 IMリーダー挨拶 IM実行委員長挨拶 ガバナー挨拶 参加クラブ紹介	司会 IM実行委員会 木下敏彦
13:20 ■ 会員セミナー 講演「私のロータリー人生」 講師:バスターガバナー 三井章義 氏	
14:20 休憩 (20分)	友愛の広場 シュミット 誼訪人「趣味人」 展覧会 ロータリアンの絵画・写真作品 長年に渡り蒐集したコレクション 秘蔵のお宝や珍品 話題づくり・友達づくりのきっかけとなる友愛の広場です。
14:40 ■ 講演会 「思うは招く」“夢があればなんでもできる” 講師:(株)植松電機 専務取締役 植松 努 氏	
16:10 謝辞 閉会のことば	誼訪グループガバナー補佐 小口政博 IM副実行委員長 小口敏高 誼訪グループガバナー補佐 小口政博
16:15 点鐘	

懇親会 「クラブの枠を超えて友だちになろう」	1階 グレイスホール
16:25 開宴の挨拶 次期ガバナー補佐・ホストクラブ紹介 次期ガバナー補佐挨拶 次期ホストクラブ会長挨拶 乾杯 歓談 新会員紹介 ロータリーソング「手に手つないで」 万歳 閉宴の挨拶	司会 ガバナー補佐事務局副幹事 河西 明 誼訪グループガバナー補佐 小口政博 誼訪グループガバナー補佐 小口政博 誼訪大社ロータリークラブ 小松郁俊 誼訪大社ロータリークラブ 代田公廣 バスターガバナー 安川英昭 司会 IM実行委員会 進藤龍吾 ソングリーダー 高木秀典 次期ガバナー補佐 小松郁俊 ホストクラブ副会長 三井義久

IMテーマ「地域を育む」

IM開催にあたって



IM実行委員長
下島 稔

ご案内の通りは諏訪地区7クラブに共通する課題の勉強会と、そこに集う会員の親睦会です。

今年度のRIのテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」ということから、各クラブがこのテーマに基づいて活動を進めておられることと思います。

考えて見ますに私達が住むこの諏訪を明治以降育んできたものは「もの作りにかける熱い心」だと思います。そのもの作りが近年の産業の広域化などにより大変な曲がり角にあるとは誰の目から見ても明らかです。もしこのまま諏訪のもの作りが衰退するようなことがあるとするならば、この地域はどうなってしまうのでしょうか。

かつてエネルギー革命によって北海道の夕張や赤平など炭鉱地帯は壊滅的打撃を受け、未だその後遺症から脱出できず苦しんでおります。

その赤平において、もの作りを通して地域を育みながら事業を展開している方がいらしゃいます。その方が今回IM講演会の講師にお招きした植松努氏です。氏の感動的な講演にご期待ください。

また会員セミナーの講師には、皆様ご存じのバスタガバナー三井章義さんへお願いをいたしました。ガバナーからの要請もあり、三井さんはロータリーとは何かを縦横に語っていただきます。ロータリー歴の浅い会員はもとより、ベテラン会員にとっても「目からウロコ」のご講演となります。これもまたご期待ください。

後半の親睦ですが、諏訪地区のロータリーアング一同に会するのはこれが唯一の機会です。「クラブの枠を超えて友だちになる」をテーマに友愛の広場、懇親会と知恵を絞って準備をいたしました。私達の意図をお汲み取りいただき、お楽しみいただきたいと思います。

どうぞ今日一日があなたにとって有意義で楽しい一日であります様に。

歓迎のことは



岡谷エコーロータリークラブ 会長
高木 秀典

皆様こんにちは、本日の国際ロータリー2600地区諏訪グループIMの開催ホストクラブを代表してご挨拶申し上げます。今年度はまれにみる、記録的な夏の酷暑に始まり、日本海側地域は大雪に見舞われ、一際寒い冬となりました。しかし、節分が終え立春を迎えると、一日と日照時間も長くなり、大分春めいてほっと致しました。

本日は小口政博ガバナー補佐をリーダーとして諏訪グループ4クラブによるIMを開催しましたところ、公私ともにご多忙中、綿貫隆夫ガバナーはじめ各クラブの会長、幹事、会員の皆様方多数のご参加を頂いたことは、ホストクラブと致しまして、本当にこの上もない喜びでございます。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、本年度レイ・クリンギンスミスRI会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」という、大変大きく、奥深いテーマを掲げております。綿貫隆夫ガバナーは、そのテーマに添われて「ロータリークラブが魅力あるものとなるためには、会員が誇りにできる活動をし、人々に認められ、クラブ自身が生き生きとしていなければなりません」という、地区の指針を出されております。本日はそうした中、第一部と致しまして、RI2600地区バスタガバナーの三井章義氏を講師に会員セミナーを計画しました。テーマは「私のロータリー人生」と題しまして、ロータリーの奉仕の心、原点とも言えるお話を語りやすくお話いただける事と思っております。第二部は、はるばる北海道赤平市よりお招きし、お越し頂きました、(株)植松電機 専務取締役 植松努氏の講演で、テーマ「思うは招く」「夢があればなんでもできる」であります。アポロ11号の月面着陸から40年以上が経ちました。植松電機様は財政難と過剰化に苦しむ北海道の地で、「宇宙ロケット」の開発製造に取り組んでおられる夢のある企業であります。必ずや感動する講演となることでしょう。更に、友愛の広場では「諏訪グループ懇親会(シュミット)展覧会」を計画し、展示してございます。どうぞ存分にご覧頂きたく存じます。

このIMによって、ロータリークラブの意義をより深く頂くとともに、諏訪グループが一層絆を強くし、親睦を深められることを心より祈念し歓迎の挨拶と致します。

2010-2011年度RIテーマ 地域を育み、大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS



IMによせて



RI第2600地区ガバナー
綿貫 隆夫

本日はIM・会員セミナーの開催をお喜び申し上げます。厳寒の続いた信州にも春の足音が近づいて参りました。縮んでいた心も開き、活発な活動が始まります。

私が好きな言葉「地域を育む」をメインテーマにした。当諏訪グループのIMは今年度のRIのテーマにも沿って時宜いかなったものです。

クラブ訪問の際もしましたが、先ず地域に密着したロータリーであることが基本であります。訪問で、諏訪グループの皆さまは長い歴史の中でリーダーシップを発揮し、地域に暮らす住民の皆さんに大きな影響を与えてくれたことを、知る事が出来ました。地域でのロータリーの活動が地域の皆さんに認められ、親しまれ尊敬されることが必要です。今日はこの地域で活躍してこられた三井章義/バスタガバナーのロータリーの原点についてお話を聞くことが出来ます。大変楽しみにしております。

ロータリークラブは、周りの人が会員それぞれの生き方を見て入会しにくくなるような存在であってほしいと思います。その会費で活動するときに結果としてロータリーの質が高まり、ひいては会員の増大につながると思います。

ロータリーは選ばれた人たちの集まりだと言われますが、社会的地位の高い人で構成されなければならないと言ったものではありません。若い人でも、女性でも将来の地域を背負っていく資質と人格を見識を備えている人であれば、仲間になって頂き、皆で地域社会のリーダーに育てていければいいと思います。その観点から見れば人の住むところ、ロータリアンになるべき人は必ず存在するはずですよ。

私はカルヤン・パネルジーRI会長エレクトの提唱したテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」に通じるものがあると思います。人は外面に見えることだけでは決められないものだと思います。本日の楽しい集りが地域に根付いたロータリーとしてますます発展に繋がります事を祈念してご挨拶と致します。

講師紹介

会員セミナー



「私のロータリー人生」

講師：RI第2600地区バスタガバナー 三井章義氏

三井氏の優しい口調と語りやすい内容で、ロータリーの奉仕の心、原点とも言えるお話を頂きます。ロータリー歴の浅い会員はもとより、ベテラン会員にも「目からウロコ」の内容になるはずですよ。

また、活発な質問も投げかけて頂ければ幸いです。このセミナーで感じたことは、きっとあなた自身のロータリー活動や仕事に対するの活力になることでしょう。

諏訪ロータリークラブ会員

IM講演会

「思うは招く」「夢があればなんでもできる」



講師：(株)植松電機 専務取締役 植松 努氏

1966年 北海道生まれ。子供の頃から紙飛行機が好きで宇宙にあこがれ、大学で流体力学を学び、名古屋で航空機設計を手がける会社に入社。5年後の1994年に実家のある北海道へ戻る。父(植松清)が経営する植松電機へ。産業廃棄物からの除染、選鉱に使う電磁石の開発製作に成功。別用電磁石は全国シェアの8割を誇るまでに導く。また、氏はかつて炭鉱で栄え現在は過疎化や財政問題に苦慮する地方都市において、北海道大学と共に宇宙ロケット開発を行い、JAXSA(宇宙航空研究開発機構)公認のカムイ式と呼ばれるハイブリットエンジンを生み出しています。氏は「どうせ無理」ということをなくしたいと自らチャレンジを続け、今では地域を育みながら事業を進めています。

